

1. 若手研究者等の受入れと育成

(1) 科学技術特別研究員（科学技術振興事業団）

研究課題名(期 間)および概要	氏 名 (受け入れ研究員)
1) 企業におけるメンタルヘルス対策の方法論の開発(平成14年1月～16年12月) 概 要:日本の企業におけるメンタルヘルス対策の実態を調査し,メンタルヘルス問題を把握する質問紙を開発する。また,企業でメンタルヘルスシステムを導入して効果評価を行い,有効なメンタルヘルス対策の方法論を開発する。	福井(山本)里江 (原谷隆史)

(2) 重点研究支援協力員（科学技術振興事業団）

研究課題名, 概要および期間	氏 名 (受入れ研究員)
1) 内分泌攪乱物質の神経行動機能に及ぼす影響に関する研究 概 要:内分泌攪乱物質は内分泌を攪乱するばかりではなく,それを介して中枢神経系をも傷害することが疑われている。我々は内分泌攪乱物質による健康影響のモデルとしてダイオキシン類に曝露されている労働者集団の中枢神経系機能変化を評価するとともに,ダイオキシン類曝露による生体分子機構の変化と神経機能変化とを関連づける。 期 間:平成11年1月～15年12月	吉田吏江 (小川康恭)
2) 廃棄物焼却施設等作業員のダイオキシン類曝露評価法の研究 概 要:産業廃棄物焼却施設等のダイオキシン類発生源を含む職場の労働者は,一般市民に比し高濃度のダイオキシン類に曝露される可能性がある。本研究の目的は,これら労働者集団のダイオキシン類曝露量と健康指標との関係を疫学的に明らかにすることである。 期 間:平成14年1月～15年12月	大場謙一 (小川康恭)
3) 労働環境中の内分泌攪乱物質・ダイオキシン類曝露と健康影響の評価に関する研究 概 要:2-プロモプロパン等の生殖毒性の検討や,生殖障害の指標の開発。 期 間:平成11年1月～15年12月	関口総一郎 (本間健資)
4) 廃棄物焼却施設等作業員のダイオキシン類曝露評価法の研究 概 要:ダイオキシン等作業環境中有害因子に対する個人曝露評価を目的とし,特異的曝露影響指標の検索・測定法の開発を行う。 期 間:平成11年1月～15年12月	上西理恵 (小泉信滋)
5) 労働環境中の内分泌攪乱化学物質等有害因子による毒性発現機序の解明のための基礎的研究 概 要:内分泌かく乱物質等の産業化学物質の有害性発現機序を把握するために必要な生物学的アッセイに関する技術開発を行う。 期 間:平成11年1月～15年12月	小林輝一 (小泉信滋)

(3) 大学からの研修生

研究課題名	氏名(大学名) (受け入れ研究員)
1) 個人サンプラの取り付け位置と個人暴露量測定値	渡邊孝志(東海大学) (菅野誠一郎)
2) 広範囲エアロゾル濃度測定法	川合辰哉(東海大学) (明星敏彦)
3) 粒子中の多環芳香族炭化水素の直接加熱 GC-MS による定量	鬼澤 将(東海大学) (小野真理子)
4) 職業性ストレスと免疫系についての実験的研究	神田憲吾(岡山大学) (中田光紀)
5) 有機化合物による生殖毒性評価等に関する実験研究	渡部すみ子(杏林大学) (王 瑞生)

(4) 大学からの学外実習生

大学名	受け入れ研究員	受け入れ学生数
1) 東京大学医学部公衆衛生学学外実習	澤田晋一	28
	上野 哲	4
	宮川宗之	5
	北村文彦	5

2. 大学への支援（非常勤講師，講義・実習等）

(1)非常勤講師(講義,実習等を含む)

名 称 (担当講義実習名)	氏 名
1) 東京医科歯科大学 (医学部衛生学)	三枝順三
2) 東京大学 (医学科公衆衛生学)	澤田晋一
3) 武蔵野女子大学 (人間関係学部生理実験演習)	岩切一幸
4) 女子栄養大学 (栄養学部職域保健学)	小川康恭
5) 滋賀医科大学 (医学部予防医学)	平田 衛
6) 大阪大学 (医学部環境医学)	荒記俊一
7) 山口大学 (医学部産業保健学)	鈴木 亮
8) 産業医科大学 (産業生態科学研究所労働衛生工学)	神山宣彦
9) 産業医科大学 (産業保健学部)	神山宣彦

(2)非常勤講師以外(講義実習等)

名 称 (講義実習等)	氏 名
1) マレーシア科学大学医学修士課程(講義:How to present research findings), 2002年5月8日	荒記俊一

(3)その他の支援

名 称 (担当項目)	氏 名
1) 東京大学大学院医学系研究科(医学科同窓会監事)	荒記俊一
2) マレーシア科学大学医学部 (External Assessor for Associate Professorship, 3 candidates), 2002年2月4日~5月28日	荒記俊一
3) マレーシア科学大学医学系大学院 (External Examiner for Master of Medicine: Community Medicine), 2002年5月5日~16日	荒記俊一

3. 労働衛生機関への支援

厚生労働省

労働衛生専門官研修

労働福祉事業団

東京産業保健推進センター運営協議会

神奈川産業保健推進センター産業保健交流会

中央労働災害防止協会

新種化学物質に係るばく露状況に関する実態調査

特殊教育インストラクター講座(有機溶剤による疾患及び健康管理)

心理相談専門研修 メンタルヘルスの基礎知識

VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドライン講習会

全国産業安全衛生大会シンポジウム講演

労働安全衛生対策セミナー

マレーシアプロジェクトカウンターパート研修

国際安全衛生センター安全衛生技術研修

ダイオキシン類作業従事者特別教育インストラクター講師

職業病予防のための健康診断におけるバイオ指標技術研修員受け入れ

UNDP 研修生講義

日本作業環境測定協会

作業環境測定士指定講習

ずい道等建設工事における粉じん対策の推進事業の現場調査

(社)日本溶接協会千葉県支部

溶接の安全衛生環境に関する講習会

国際規格の動向調査(CEN/TC121/WG17), 第55回国際溶接学会

(財)日本防災協会

消防用防護服性能評価手法研究会

島根県医師会

生涯研修会講演

4. 海外協力

(1) 国際協力事業団 (JICA)

名 称 (内 容)	氏 名
1) JICA 長期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生研究所において健康管理, 人間工学に関する技術協力 (平成 12 年 11 月 ~ 14 年 11 月)	久永直見
2) JICA 短期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生研究所において神経機能検査に関する技術協力(平成 14 年 1 月 ~ 平成 14 年 2 月)(平成 13 年度年報未収載につき追録)	平田 衛
3) JICA 短期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生研究所において暑熱環境における労働衛生管理に関する技術協力(平成 14 年 7 月 ~ 14 年 8 月)	澤田晋一
4) JICA 短期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生研究所において VDT 作業者の労働衛生管理に関する技術協力(平成 14 年 8 月)	鈴木 亮
5) JICA 短期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生研究所において産業精神保健に関する職場調査方法に関する技術協力(平成 15 年 1 月)	原谷隆史
6) JICA マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(温熱環境 / 人間工学, 平成 14 年 3 月)(平成 13 年度年報未収載につき追録)	澤田晋一, 城内 博, 平田 衛, 前田節雄, 毛利一平
7) JICA マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(呼吸用保護具 / 人間工学, 平成 14 年 4 月)	明星敏彦
8) JICA マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(労働安全衛生行政, 平成 14 年 9 月)	小嶋 純, 菅野誠一郎, 斉藤 進, 澤田晋一, 篠原也寸志, 鷹屋光俊, 前田節雄, 三木圭一, 明星敏彦
9) JICA マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(作業環境改善 / 局所排気装置, 平成 15 年 1 月 ~ 3 月)	小嶋 純, 柴田延幸
10) JICA マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(粉じん障害の診断と予防, 平成 15 年 2 月 ~ 3 月)	神山宣彦, 久永直見
11) JICA マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(産業精神保健, 平成 15 年 3 月 ~ 4 月)	高橋正也, 中田光紀, 原谷隆史

(2) 中央労働災害防止協会・国際安全衛生センター (JICOSH)

名 称 (内 容)	氏 名
1) エルゴノミクス研修 (振動障害の防止)	前田節雄
2) エルゴノミクス研修 (総括質疑)	久永直見